

令和3年度第1回  
八千代市総合計画審議会  
会議録

八千代市総合計画審議会

# 令和3年度 第1回 八千代市総合計画審議会

1 開催日時 令和3年12月21日(火) 午後3時30分から午後5時00分まで

2 開催会場 八千代市役所 新館6階 第4会議室

3 出席者 ◇ 八千代市総合計画審議会委員

会長	日本大学名誉教授	伊澤	岬
副会長	八千代商工会議所会頭	上代	修二
委員	公募委員	津田	昌宏
	公募委員	渡邊	浩史
	公募委員	渡邊	成美
	日本大学理工学部教授	藤井	敬宏
	東京成徳大学応用心理学部教授	出雲	輝彦
	八千代市自治会連合会副会長	鈴木	介人
	八千代市スポーツ協会会長	豊田	正昭
	八千代市子ども会育成連絡協議会会計	荒川	香南子
	八千代市社会福祉協議会会長	綱島	照雄
	八千代市長寿会連合会大和田地区副地区長	松井	良子
	千葉県葛南地域振興事務所所長	久保	俊明
	千葉銀行大和田支店支店長	島貫	淳
	税理士	隅田	容代
欠席委員	秀明大学総合経営学部准教授	山口	桂子
	八千代市農業協同組合常務理事	中嶋	功
	八千代市医師会会長	加瀬	卓
	八千代市芸術文化協会会長	福永	巨
	ホリキリ労働組合書記長	島	勝彦
	株式会社ジェイコム千葉 YY 船橋習志野局局長	村山	寛

(敬称略)

◇ 事務局

市長	服部 友則
企画部長	小川 勝
同部次長	道淵 真佐宏
企画経営課主幹	宮崎 敏則
同課主査補	櫻井 徹
同課主任主事	綿 嶺 友

4 公開・非公開

公開

5 傍聴者(定員5名)

1名

6 議題

- (1) 会長及び副会長の選出について
- (2) 八千代市第4次総合計画後期基本計画について
- (3) 第1期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組結果について
- (4) その他

7 会議資料

- (1) 資料1 八千代市総合計画審議会条例
- (2) 資料2 八千代市第4次総合計画後期実施計画における計画事業
- (3) 資料2-2 第4次総合計画後期基本計画における指標の達成状況
- (4) 資料3 第1期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの達成状況と主な取組結果
- (5) 参考資料1 八千代市総合計画審議会条例(新旧対照表)
- (6) 参考資料2 八千代市第4次総合計画後期基本計画(ダイジェスト版)
- (7) 参考資料2-2 八千代市第4次総合計画後期基本計画施策体系
- (8) 参考資料3 八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

## I 事務局より

### ○事務局（道淵次長）

本日はお忙しい中御出席いただき、誠にありがとうございます。

ただいまの出席委員は、15名でございます。八千代市総合計画審議会条例第6条第2項で規定する「委員の過半数」という定足数に達しております。

なお、本日の会議は公開の会議です。会議録作成のため、録音いたしますので御了承ください。

発言の際はマイクのスイッチをONにして、赤いランプが点灯したことを御確認のうえ、御発言いただきますようお願いいたします。また、御発言後のスイッチのOFFは不要でございます。御協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから、令和3年度第1回八千代市総合計画審議会を開催いたします。

はじめに、服部市長より御挨拶申し上げます。

## II 服部市長挨拶

### ○服部市長

本日は、総合計画審議会の委員をお引き受けいただき、また会議に出席いただきまして誠にありがとうございます。

私もかつて県議会議員時代に、この総合計画審議会の委員として第4次総合計画前期基本計画のとりまとめをさせていただきました。当時を振り返りながら、今市長として御挨拶しているのも、何か不思議な気がします。

今年の4月から第5次総合計画がスタートしております。これから皆様には、それぞれの分野からそれぞれの知見を生かして、専門的なものを含めて御意見を頂戴したいわけですが、総計画に沿って事業が進んでいるかなどをはじめ、今後の市政運営に関して様々な意見をいただければというふうに思っております。

皆様にあまりプレッシャーをかけるつもりはございませんけれども、本当に八千代市の中枢の計画における役割を心から期待をさせていただいて、市長としての挨拶に代えさせていただきます。

### Ⅲ 委員自己紹介

#### ○事務局（道淵次長）

次に、委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと存じます。お手元に配付いたしました名簿に沿いまして、お名前と一言ずつ御挨拶をいただければと思います。なお、山口委員、中嶋委員、加瀬委員、福永委員、島委員、村山委員におかれましては、所用のため欠席との連絡をいただいております。

では、津田委員より時計回りによろしくご自己紹介いたします。

#### ○津田委員

津田昌宏でございます。よろしくご自己紹介いたします。

私は、八千代市に生まれて26年になります。これから、例えば災害とかワクチンの接種とか、いろいろなことが起こってこようと思っておりますけれども、そういう場面で、この市に住んでよかったと思えるような市になりますよう、その一員として、何らかのことができればいいかなと思っております。

私自身は生涯学習の実践として、教育委員会の教育長や学校の校長先生のリーダーシップについて研究を続けておりますので、その教育の面で何か発言する機会があればいいかなと思っております。

どうぞよろしくご自己紹介いたします。

#### ○渡邊（浩）委員

渡邊浩史と申します。よろしくご自己紹介いたします。

今回、こちらに参上する前に一通り資料を拝見しまして、資料の中で、私の自己紹介として三つ、関わりがあるところが御紹介できるかなと思っております。

一つは、私は会社を定年退職しました後に、この扉を出てすぐ左側の農業委員会事務局に会計年度任用職員として勤めております。

毎日のように、農地に出て、農家さんと話をしたり、本当にあらゆる農地を見てまいりまして、大体、八千代市の農地のことを把握できたかなと思っております。

あと一つは、自転車に乗るのが趣味で、こちらの資料に載っております「市民のふれあいネットワークゾーン」は、月に2回ほど、自転車で走り回ってまして、付近の観光ですとか、歩いている方たちの様子というのはわかっているつもりです。

あと一つは、障害者スポーツ推進委員の資格を持っておりまして、日本ボッチャ協会と千葉ボッチャ協会の方に審判登録しております。ボッチャの普及推進活動、障害者さんの生涯学習と

どうか、ユニバーサルスポーツの推進活動に努めております。

どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○渡邊（成）委員

渡邊成美と申します。よろしくお願いいたします。

私は、今年キャリアコンサルタントの資格を取りまして、何か資格を生かしたことに携われたらいいなというふうに思っていたところ、こちらの募集を見まして、応募させていただきました。

普段はパートとして働いておりまして、大学生の息子がいるのですが、子育てを通して、いろいろと八千代市の中で、こういったことがあったらいいなとか、こういうことをやっていきたいなと思うようなことが、少しずつ見えてきたところに、今自分の住んでいるところの自治会の役員などを引き受ける機会がありまして、地域への働きかけというものがすごく大切だということを実感しているところです。

こちらでもまだ何も経験がないところで、皆様にもいろいろと教えていただくことが多いと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○伊澤委員

伊澤岬です。住まいは勝田台でございまして、40数年住みまして、引っ越した時に1歳、2歳の子どもたちが成人をとっくに過ぎてですね、社会人で活躍しています。

それは八千代ですね、新川とその周りの緑の自然環境が本当に恵まれたところで伸び伸びと育ってくれた賜物ということで、大分私は年をとりましたけれども、何とか住みよいまちを継続的に、この八千代の中で展開できる一助になればというふうに考えております。

もう一つ、勤務先が東葉高速線の船橋日大前駅の、多分藤井先生もお話すると思いますが、そのキャンパスで勤務しておりまして、専門は建築のデザインで船橋日大前駅の設計は私がやりました、千葉県を含め、数々の賞をいただきました。

ちょっと宣伝が強いところですがよろしくお願いいたします。

#### ○藤井委員

続きまして日本大学工学部交通システム工学課というところに籍を置いております藤井と申します。

今お話ございました船橋日大前、こちらのキャンパスにありますので、もう八千代とお隣という形で、この周辺のところをいろいろ関わらせていただいております。

八千代市さんにおきましては、その他の委員会として、都市計画審議会、それから地域公共交通会議、こちらの方で関わらせていただいております。

また今回の総合計画審議会は継続という形になりますが、一つよろしく願います。

#### ○出雲委員

東京成徳大学の出雲と申します。

東京成徳大学は1993年に八千代市の保品で開校いたしまして、間もなく30年を迎えるところなのですが、その間、学部が増えまして東京にキャンパスがもう一つあります。

私は大学の健康スポーツ心理学科の教員をしておりますが、その学科も今年度をもちまして東京に移るということで、30年近く八千代の方々にお世話になって、非常に感謝しております。

キャンパスは移りますが、スポーツ施設は残りますし、様々な形でこちらに関わりを持つということで、継続して委員を引き受けさせていただきました。

私の専門はスポーツ政策の分野で、現在、日本体育スポーツ政策学会の理事長をこの4月から務めさせていただいております。

そういったスポーツ政策の観点から何か、お手伝いできることがあればというふうに考えております。

どうぞよろしく願います。

#### ○上代委員

八千代商工会議所会頭の上代でございます。

唯一の経済団体です、八千代全域の経済に携わっております。地域おこし・まちおこし、そういうことも非常に重要な我々の仕事だというふうに思っていますので、皆様に何かお役に立てればというふうに思います。

よろしく願います。

#### ○鈴木委員

私は緑が丘西自治会の会長の鈴木と申します。現在、高津緑が丘地区の会長も併せて務めさせていただいています。

今日、実は新聞で、私たちの自治会が読売新聞の千葉版の真ん中の方に、自治会活動の安心・安全というところで、カラーでちょっと掲載をさせていただきました。

総合計画の方では過去6年ほど勤めさせていただいて、計画年は携われない立場だったのですが、今回は自治会連合会から推薦をいただき、参加するようになりました。

それではよろしく願います。

○豊田委員

皆さん、こんにちは。5月に飯島前会長の後任として、八千代市スポーツ協会の会長を仰せつかりました。豊田正昭と申します。

私どもはスポーツ関係の、市民の健康増進あるいは生涯学習の観点からスポーツを盛んにするにはどうしたらいいかということで、八千代市民のスポーツ活動を推進している統括団体でございます。

今の課題としては、新川周辺のスポーツ施設の老朽化が激しくてですね、これを何とか修理・修繕しながら、市民に広く使っていただけるようにするにはどうしたらいいかというようなことを課題として持っておりますので、その辺を含めてですね、皆さんの御意見を伺いながら、参加していきたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

○荒川委員

前回に引き続き、八千代市子ども会育成連絡協議会から参加させていただいています。荒川香南子と申します。

前回の説明の時に、こちらには結婚してから来て、子育てをしていますという話をさせてもらって、子ども会に関していわゆる子育て問題には、当事者として、いろいろと意見をたくさんさせてもらったのですが、実は結婚する前に、私は獣医師として、三重県職員として保健所食肉衛生研究所で働いていまして、コロナの関係に関してはちょっと自分なりにやはり興味があって、いろいろそういう面からも、政策に反映だけできるような形のコメントが出せればいいかなと思っております。

よろしく願いいたします。

○綱島委員

社会福祉協議会の会長をしております綱島でございます。よろしく願いします。

社会福祉協議会は、地域福祉の増進とか、地域共生社会の実現、そういうことを目的としてやっております。

私個人も八千代市内で特別養護老人ホーム、それから保育園を経営しております。何か福祉的なところから、お役に立てればなというふうに思っております。

よろしく願いいたします。

○松井委員

八千代市長寿会連合会大和田地区から参りました松井良子と申します。



今は高齢化社会で、この八千代市でも高齢者の世帯が40%ぐらいになっていますので、入ってくださる方が少ないので私どもも非常に困っております。

市内に各団体、個別のクラブがあるのですが、46のクラブで1名ずつ増やしましょうっていう運動を進めております。それでもなかなか入ってくださる方がいないです。とてもお年寄りの方が多いのですが、どうしたら長寿会に入っただけか。

それから、買い物難民も相当おりますので、そういうことや一人暮らしの方の連絡先とか、市の方からセコムなどの働きかけもあって、それでも一人暮らしの方の10%ぐらいしか利用されていないような状況です。

そういうところを、いろいろこれから勉強していきたいなと思っております。

よろしく願いいたします。

#### ○久保委員

千葉県の方から参加させていただきました、千葉県葛南地域振興事務所長の久保と申します。

私自身は県庁職員なので、いろいろな分野の仕事をやってきましたけれども、特に防災の分野ですとか、児童福祉の分野に関わったことが多くて、阪神淡路とかですね、それから東日本大震災の時も、現場にちょっと派遣させてもらってですね、防災の方を担当しました。

今回、声かけていただきましたけれども、八千代市のほか葛南地域振興事務所では、船橋、浦安、市川、習志野と八千代というふうに5市を担当しておりますけれども、今までやってきたことが少しでも八千代市さんの方にお返しできればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○島貫委員

千葉銀行大和田支店の島貫淳と申します。

手前ども千葉銀行はですね、八千代市内に5店を構えておりますが、当大和田支店は市内最古の支店ということで京成大和田の駅前にございます。

総合計画の中でも京成沿線の活性化というものがありますけれども、今もお話に出ました高齢化等ですね、まちづくり、高齢化いろいろちょっと課題があるというふうに感じておりますので、微力ではございますが、そういったところでお手伝いさせていただければと思っております。

よろしく願いいたします。

#### ○隅田委員

隅田容代と申します。

八千代台東に事務所があります「かもめ税理士法人」で税理士をしております。

私、生まれも育ちも八千代市で、実家が八千代台にございます。今はちょっと他の市にありますが、また戻ってくる計画になっておりまして、子育てを八千代市でしていきたいと思っておりますので、そういった面から、何か意見が言えたらいいかなと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

○事務局（道淵次長）

ありがとうございました。なお、事務局職員は、席次表にて紹介に代えさせていただきます。

なお、ここで公務のため服部市長は退席いたしますので、御了承ください。

—服部市長退席—

## IV 議事

### 【議題】

- (1) 会長及び副会長の選出について
- (2) 八千代市第4次総合計画後期基本計画について
- (3) 第1期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組結果について
- (4) その他

### (1) 会長及び副会長の選出について

---

○事務局（道淵次長）

それでは、議題に移らせていただきます。

議事の進行は、八千代市総合計画審議会条例第6条第1項の規定により、会長が行うことになっておりますが、本審議会は本年8月の改選後、初めての会議でありますことから、会長が選出されておられません。

選出までの間、企画部長の小川が仮議長として、議事を進行させていただきたいと存じますが、皆様、よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし。

○事務局（道淵次長）

ありがとうございます。異議がないようですので、企画部長の小川が進行をいたします。

○仮議長（小川部長）

それでは、会長が選出されるまでの間、仮議長を務めさせていただきます。皆様、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

早速でございますが、議事に入ります。議題1は「会長及び副会長の選出について」でございます。

はじめに、本年3月に八千代市総合計画審議会条例を改正したことから、本審議会の所掌事務、委員構成等に変更がございました。このことについて、事務局より御説明申し上げます。

○事務局（宮崎主幹）

企画経営課の宮崎です、どうぞよろしくお願いいたします。

会長及び副会長の選出に先立ち、本審議会に関しまして、本年3月に八千代市総合計画審議会条例を改正いたしましたことから、主な改正内容について、御説明させていただきます。

資料は、お手元の資料1「八千代市総合計画審議会条例」になります。また、参考資料1といたしまして、条例の新旧対照表を御用意いたしましたので、新旧の比較をされたい場合には参考資料を御覧ください。

はじめに、本審議会の所掌事務についてでございます。

本審議会につきましては、本市の総合計画に関し、市長の諮問に応じ調査審議して答申をするための附属機関として設置し、主に同計画の策定に向けた調査審議及び答申を行っております。

しかしながら、計画の策定に携わった審議会の委員の皆様に、市民目線、また専門的な視点で総合計画の進捗及び効果の検証にも御関与していただくことで、総合計画の実効性がより高められると考え、審議会が行う事務の範囲の見直しを行っております。

条例第2条を御覧下さい。具体的な内容といたしましては、本審議会におきまして、「総合計画の策定及び変更に関する事項」「総合計画の推進に関する事項」「総合計画の効果検証に関する事項」「その他市長が必要と認める事項」の4つの事項を所掌することとしており、前項第1号に規定する事項について諮問があったときは、調査審議の上、市長に答申するものとしております。

次に、委員の構成についてです。

第5次総合計画は、まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体的に策定しており、総合計画の策定及び変更から進捗、効果の事後的な検証に至るまでの過程において、少子高齢化や人口減

少の克服，地域経済の発展や活力ある地域社会の形成などといった「地方創生」の観点を踏まえ，多角的な見地から総合計画の検討を行う必要があると考えたことから，審議会の行う事務の範囲とともに，審議会を組織する委員の構成についても見直しを行っております。

具体的に申し上げますと，総合戦略の推進にあたっては，住民をはじめ，産業界・関係行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア・土業などの参画が重要とされ，これまでは「八千代市まち・ひと・しごと創生懇談会」を設置しておりましたが，同懇談会と本審議会を比較したときに，関係行政機関・金融機関・労働団体・メディアの委員が不足しており，さらに，内閣府作成の手引きによると，土業の参画も重要とされていることから，各分野における横断的な視点で推進を図るために，本審議会の委員の定数を変更するとともに，「その他市長が必要と認める者」を追加しております。

条例第3条を御覧ください。本審議会は21人以内の委員で構成することとし，市民が3人以内，学識経験者が4人以内，関係行政機関の職員及び公共的団体を代表する者が10人以内，その他市長が必要と認める者が4人以内としております。

また，そのほかに，審議会の運営に関し必要な見直しを行っております。  
事務局からは以上となります。

○仮議長（小川部長）

ただいまの説明につきまして御確認等ございましたら，いかがでしょうか。

○津田委員

細かいことですが，前規定では「任務」となっていたのが，今度は「所掌事務」となっておりますが，この違いはどのような点にあって，委員としてはどういう責務に変わるのでしょうか。

○仮議長（小川部長）

事務局，よろしいですか。

○事務局（宮崎主幹）

一般的な部分になりますが，会議の所々を照らし合わせた場合，通常の審議会等の事務に関しては，「所掌事務」とするのが，条例の中では一般的となっておりますことから，今回の改正に合わせて，「任務」という役割を任せる部分から，所掌する事務という形で直したものでございます。

○仮議長（小川部長）

よろしいでしょうか。他にどなたか御発言ございますか。

よろしいでしょうか。そういたしましたら、会長及び副会長の選出を行いたいと思います。

本審議会においては、条例第4条第1項の規定により、会長及び副会長は、委員の互選によって定めることとなっております。

最初に会長の選出を行います。どなたか立候補、あるいは御推薦はございませんでしょうか。お願いいたします。

○久保委員

私から推薦したいと思います。

この審議会においては、日本大学の名誉教授で御活躍されております伊澤委員が長らく会長をお務めになり、昨年度も八千代市第5次総合計画の策定に関して、議論をまとめられたというふうに伺っております。

引き続き、伊澤委員にお願いしたいと思いますけれども、いかがでございましょうか。

○仮議長（小川部長）

ただいま、伊澤委員を推薦する御意見がございましたが、他にどなたか御意見等ございますでしょうか。

御推薦、立候補も含めましてございますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、お諮りいたします。本審議会の会長を伊澤委員に決定してよろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし。

○仮議長（小川部長）

異議なしとのことですので、本審議会の会長は伊澤委員に決定いたします。これで仮議長としての役目を終了させていただきます。御協力ありがとうございました。

以降の進行は、伊澤会長よろしくお願いいたします。

○議長（伊澤委員）

それでは座ったままですが、議長を仰せつかりました伊澤でございます。進行役も務めさせていただきますので、皆様のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

続きまして副会長の選出を行いたいと思います。

どなたか立候補，あるいは御推薦ございませんでしょうか。

○委員一同

(推薦・立候補の声なし)

○議長(伊澤委員)

それでは推薦がないということですので，私の方からお願いをさせていただきます。

長らくこの八千代市で御活躍をしていただいております，上代委員に副会長をお願いしたいと思いますが，いかがでしょうか。

お引き受けいただけますか。

○上代委員

はい。

○議長(伊澤委員)

それでは，お諮りしたいと思います，本審議会の副会長を上代委員に決定してよろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし。

○議長(伊澤委員)

異議なしということで本審議会の副会長は上代委員に決定いたしました。

それでは上代副会長の御挨拶をお願いいたします。

○上代委員

皆さんから御推挙いただきましたので，そのまま頑張ってやらせていただきたいというふうに思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長(伊澤委員)

私も一言お話いたしますと，前回，会長を務めさせていただいたときにですね，ちょうどコロナが始まったところで，毎回会議の際にコロナの状況を正確にお話する人が誰もいらっしゃいませ

るので、私がですね、差し出がましく、朝刊で八千代のいわゆる感染者数を見て、毎回お知らせしておりました。

実は今日ですね、市の保健センターの方に出向きまして、じっくりと保健センターの空間的状況だとか、あるいは人材の問題だとか、空間と人ですね、それについてお話を伺ってきました。

今はオミクロン株に対してですね、極めて慎重に県とともに、準備を整えているという状況であることをお知らせして、会長の挨拶とさせていただきます。

それでは会議次第に基づきまして、次の議題に進みたいと思います。

## (2) 八千代市第4次総合計画後期基本計画について

---

### ○議長（伊澤委員）

それでは会議次第に基づきまして、次の議題に進みたいと思います。

議題2「八千代市第4次総合計画後期基本計画について」事務局より御説明お願いいたします。

### ○事務局（宮崎主幹）

議題2「第4次総合計画後期基本計画について」説明させていただきます。恐れ入りますが、着座にて失礼いたします。

資料の説明に入ります前に、今回の会議の議事について説明させていただきます。

今回の会議では、議題2として「第4次総合計画後期基本計画について」、議題3は「第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組結果について」といたしております。どちらの計画も計画期間が令和2年度末までの計画でございまして、既に取り組み期間は終了しているものでございます。

今回の会議では、計画事業の取組結果や指標の実績値などについて委員の皆様へ報告をさせていただきます。それについての御意見等をいただきたいと考えております。最終的な総括につきましては、今年度中に予定しております次回の会議にて御議論いただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは資料の説明に入ります。御覧いただきたい資料は、資料2、資料2-2、参考資料2、参考資料2-2の4点となります。

まず、参考資料2「第4次総合計画後期基本計画ダイジェスト版」の2ページ目を御覧ください。

議題の説明にあたり、はじめに八千代市の総合計画の構成について説明いたします。2ページ右側の中段の図を御覧ください。

本市の総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画の3層で構成されております。

基本構想は、本市のまちづくりを進めていくうえでの基本理念と将来目標及び施策の大綱を示し、総合的な行政運営の指針とするものでございます。基本構想の期間は、平成23年度から令和2年度までの10年間でございました。

次に基本計画は、基本構想を実現するため、まちづくりの基本的な施策を体系的に示す、市政の基本的な計画でございます。基本計画の期間は、基本構想の期間である10年を2分割し、平成23年度から平成27年度までを前期、平成28年度から令和2年度までを後期としております。

そして、本計画に定めた施策を効果的に実施するための具体的な事業とその財源の裏付けを伴う具体的な計画が、実施計画でございます。

実施計画の計画期間は3年間で、ローリング方式により毎年度見直しを行ってまいりました。

次に、参考資料2-2を御覧ください。こちらは、後期基本計画から施策体系を抜粋したものでございます。「第1章 健康福祉都市をめざして」から資料の下に記載してあるページ番号で46ページの「第6章 産業活力都市をめざして」までの全6章、及び同じく資料下にあるページ番号で199ページの「計画の推進のために」の施策体系を示したものです。施策の数としては、全部で52施策となります。後期基本計画では、この施策体系に基づいて施策を展開してきたところでございます。

つづいて、資料2「第4次総合計画後期実施計画における計画事業」を御覧ください。

この資料2でございますが、2か所誤りがございますので、修正をお願いします。1か所目が、2ページの表の合計欄、計画事業数30となっておりますが、正しくは29でございます。

もう1点が7ページでございますが、合計欄の事業数が40となっておりますが、正しくは39でございます。誠に申し訳ございません。訂正をお願いいたします。

資料の説明に戻りますが、この資料は、第4次総合計画後期実施計画について、第4次総合計画の後期5年間における計画事業を各章の施策ごとにまとめたものになります。黒い丸印は、計画事業を実施したことを示しております。また、ハイフンは、その年度において計画事業として掲載していないことを示しております。

具体的に各章ごとに見ていきますと、第1章「健康福祉都市をめざして」では、平成28年度から令和2年度までの5年間で、29事業を実施計画に位置付け、11事業が完了したところです。なお、未執行とあるのは、実施計画に位置付けていたものの事業に着手することができなかつたものでございます。

第2章「教育文化都市をめざして」では、14事業を実施計画に位置付け、9事業が完了しています。

第3章「環境共生都市をめざして」では、7事業を実施計画に位置付け、3事業が完了して



います。

第4章「安心安全都市をめざして」では、20事業を実施計画に位置付け、3事業が完了しています。

第5章「快適生活都市をめざして」では、39事業を実施計画に位置付け、11事業が完了しています。

第6章「産業活力都市をめざして」では、6事業を実施計画に位置付け、3事業が完了しています。

「計画の推進のために」では、10事業を実施計画に位置付け、5事業が完了しています。

続いて、資料2-2「第4次総合計画後期基本計画における指標の達成状況」を御覧ください。第4次総合計画後期基本計画に掲げた指標は、全部で133指標あります。この資料は、指標について各章ごとに整理したのになります。

中項目・小項目については、後期基本計画の施策を示しております。令和2年度実績値については、後期基本計画の最終的な結果となります。指標区分が「市民の割合」というものについては、市民満足度調査を実施して把握した数値となります。それ以外の指標については、各担当課において把握している数値となります。なお、市民満足度調査は令和3年10月に実施したところであり、その集計結果を令和2年度実績値としております。

達成区分については、結果が目標値以上になったものは「達成」、達成には至っていないものの計画策定時の現況値を超えるものは「向上」、現況値と変わらないものは「維持」、現況値を下回るものは「低下」と表記しております。

具体的に各章ごとに見ていきますと、「第1章 健康福祉都市をめざして」においては、指標は全部で35指標あります。そのうち、達成したものは6指標、向上したものは10指標、維持となったものは2指標、低下したものは17指標となっております。

「第2章 教育文化都市をめざして」においては、指標は全部で29指標あります。そのうち、達成したものは2指標、向上したものは8指標、維持となったものは1指標、低下したものは18指標となっております。

「第3章 環境共生都市をめざして」においては、指標は全部で14指標あります。そのうち、達成したものは2指標、向上したものは6指標、維持となったものは0、低下したものは6指標となっております。

「第4章 安心安全都市をめざして」においては、指標は全部で11指標あります。そのうち、達成したものは6指標、向上したものは3指標、維持となったものは1指標、低下したものは1指標となっております。

「第5章 快適生活都市をめざして」においては、指標は全部で19指標あります。そのうち、達成したものは3指標、向上したものは10指標、維持となったものは1指標、低下した

ものは5指標となっております。

「第6章 産業活力都市をめざして」においては、指標は全部で13指標あります。そのうち、達成したものは4指標、向上したものは4指標、維持となったものは1指標、低下したものは4指標となっております。

最後に「計画の推進のために」においては、指標は全部で12指標あります。そのうち、達成したものは6指標、向上したものは5指標、維持となったものは0、低下したものは1指標となっております。

後期基本計画全体としては、133指標のうち、達成となった指標は29指標、向上は46指標、維持は6指標、低下は52指標という結果となっております。

指標によっては、現況値に比べて実績値が極端に低くなっている項目がありますが、これは、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、研修会や講座など人が集まるような活動については中止となったことが主な要因となっております。

今回の審議会においては、5年間における実施計画事業の完了区分や、令和2年度実績値と達成区分についてのみの説明としておりますが、この後、第4次総合計画後期基本計画の総括をまとめる予定でございます。各部局において、5年間の実施計画事業や、指標の最終的な結果を踏まえ、課題や今後の方向性など、後期基本計画について振り返ってもらい、今後の施策の推進に活かしてまいりたいと考えております。

以上で、議題2「第4次総合計画後期基本計画について」の説明を終わります。

#### ○議長（伊澤委員）

それではただいまの説明について御意見、御質問が、ありましたらお願いいたします。

特に、コロナの影響などもあるということで、なかなかこれをどうするのかっていうのは難しいところだと思いますが、皆様の御意見、御質問よろしくをお願いいたします。

はいどうぞ。

#### ○出雲委員

すいません資料2-2でちょっと御質問があるのですが、よろしいでしょうか。

資料2-2なのですが、計画策定時の数値と目標値の数値に関連して、これは目標値が計画策定時よりも、すべて高い数値を設定しているのでしょうか。

一部、計画策定時をよりも低い値が目標値で設定されている。そういう箇所があるのですが、そこをちょっと御説明いただければと思います。

○議長（伊澤委員）

具体的に事務局わかりますか。

○事務局（宮崎主幹）

1 ページ目で言いますと、14番でありますとか、あとは具体的に低い数値のものといえますと。

○出雲委員

77番で低いものがあります。

○事務局（宮崎主幹）

では、77番ですと、一般廃棄物の処理量になりますが、計画策定時は5万4,703トン、目標値は5万2,621トンということで、こちらは廃棄物の処理の量でございますので、少なければ少ないほど、それはゴミの削減が進んでいる。1人当たりのごみの排出量が減っているというような形になりますので、少ない方がいいということで、目標値については、低くなる値をとっております。

ただ実績値としては、こちらの場合は、残念ながら増えてしまっておりますので、そういう意味で達成区分については、低下という形で表記をしているものでございます。

○議長（伊澤委員）

説明はわかったのですが、わかりづらいですね。

○出雲委員

いえ、確かに減った方が達成したっていう項目があるっていうのはわかりましたので。

もう1点よろしいですか。どうしても体育スポーツに目がいってしまうのですが、43の新体力テストの中学校の項目なのですが、策定値が80.1%で、目標値が80.1%なのですが、これは正しい数字なのでしょうか。それとも何か誤りか。

○議長（伊澤委員）

事務局お願いします。

○事務局（宮崎主幹）

ちょっと確認しますので、よろしいですか。

○出雲委員

すいませんお願いします。

○議長（伊澤委員）

ほかにございませんでしょうか。

はいどうぞ。

○荒川委員

基本的なことでは申し訳ないのですが、今回資料2-2の方の内容を見せていただいて、「低下」「向上」「達成」というものに関して、先ほど説明にあったように計画策定時よりも令和2年度の実績値が多いか少ないかという内容で判断されたというふうにお伺いはしたのですが、この多い・少ないに関して、統計的な有意な差というのはあったからというわけではなく、単純に数値が大きかったから小さかったからという判断の仕方をされたということでしょうか。

実際に0.5%の差しかないのに、「低下」だとか「向上」だとかと言えるのかという。それは、調査時における誤差範囲なのかどうかというところ、判断がちょっと難しいかなと思ったのに「向上」とか「低下」と書いてあったので、そこはどうされたのかなと思ってお伺いします。

○議長（伊澤委員）

はい、事務局。

○事務局（宮崎主幹）

御指摘としては達成区分のところ、誤差の範囲に近いものでも「低下」などの判断がされているということだと思っておりますが、これについては、便宜的に同数でなく少しでも変化があれば、達成区分としてはどちらかに振っているという形で表記をしております。

実際には、計画策定時から5年間の計画になりますので、年度ごとの動き、そういったものをとらえて判断すべきという部分はありますけれども、表記的には、見た目の数字だけで表記を載せているものでございますので、最終的な総括としては、どういうことをしてきたというようなものも判断していきたいと思っております。

○議長（伊澤委員）

これに関連して何か御意見だとか御提案があれば嬉しいのですが。

○藤井委員

この達成とか云々ってのはどの自治体さんも悩んで使われているところです。私に関わっているところでも、市原市さん、我孫子市さん、市川市さん、その中でも達成目標といったようなところに関してはですね、数値目標を設定したところを、それを超えるか超えていないか。それを基本的に考えると、当然の1番目のところなどでは、市民の割合なんていうとその割合のパーセンテージが変われば正しい評価できるのかどうかと、そういったような議論ももちろん出てくることは間違いないのですが、有効サンプル数の運用とそれから経年的にそれがどう推移しているかといったところで、そこで置き換えるというのが一般的な扱いといったところで、どこまで精緻化するかといったところが、本当にその精緻化した意味が向上云々のところで、計画にどう直結するかといったところのですね。ある意味、急がなければいけない、プライオリティの高い項目かどうか、それによって少しその辺の精査の位置付けを変えていくようなことを少し事務局の方で考えた方がいいかなと思いますね。

すべてに同じ水準のレベル差を設定して、確からしさを求めるということをするまではないかなという気はしています。

○議長（伊澤委員）

大変貴重な御意見、御示唆ありがとうございました。

よろしいでしょうか御質問の内容、お答えで、いいですか。ほかにございませんでしょうか。はい、どうぞ事務局。

○事務局（宮崎主幹）

すいません。事務局から先ほど出雲委員から御質問いただきました、資料2-2の43番、中学校の体力テストの関係でございますが、元の資料を確認しましたが、目標値80.1%は現状維持を目標にしている、低下を防ぐという部分を目標としているというようなつくりになっておりました。

○議長（伊澤委員）

はい、ありがとうございました。ほかにございませんでしょうか。

はいどうぞ、藤井先生お手短に。

○藤井委員

内容ではありません。

資料2の方の、中項目といったところと連動して、この資料2-2が出ているのかなという

ふうになっているのですが、例えば資料2-2の12番目のところとか、その次の方でも少し出てくるのですが、中項目として、この計画事業に上がっていない項目が、この2-2の中の、評価といった形の資料として上がっているのですが、この辺はどうなっているのか事務局の方にお伺いしたいと思います。

○議長（伊澤委員）

事務局お願いいたします。

○事務局（宮崎主幹）

資料2の方と、資料2-2のつくりでございしますが、資料2の方がですね、実施計画における計画事業ということで、先ほど、基本構想・基本計画・実施計画という、総合計画が3層になっていると説明させていただいたのですが、資料2においては、その一番下の実施計画の事業名をこの一覧表にまとめているところがございます。

それに対して資料2-2は、その上段に当たります基本計画において、指標を設定しているものを一覧表に上げているものでございますので、若干対象となる事業とかその内容が完全に一致していないというような状況になっているものでございます。

○議長（伊澤委員）

いかがでしょう。

○藤井委員

そういうことであればわかりましたが、資料2から説明されると、混乱しますので、計画の位置付けが違うよということをちゃんと説明してから、このアウトカムに相当するような目標値設定を説明していただいたら、混乱はしなかったかなって気はいたします。

○議長（伊澤委員）

貴重な御意見ありがとうございました。他にございませんか。

ないようですので、次の議題に移りたいと思います。

---

### （3）第1期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組結果について

○議長（伊澤委員）

議題3「第1期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組結果について」事務局の御

説明をお願いいたします。

○事務局（宮崎主幹）

それでは、議題3「第1期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組結果について」説明させていただきます。

本議題の資料は、資料3「第1期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの達成状況と主な取組結果」でございます。また、参考資料3として「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要版）」を配付しておりますので、併せてお手元に御用意ください。

はじめに、参考資料3を御覧ください。

八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、これまでは人口が増加傾向で推移してきた本市においても、将来的には人口減少が見込まれておりますことから、少子高齢化や人口減少の克服、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成などの課題解決に向けての取組を進めるため、平成27年度に策定したものです。計画期間は、平成27年度から令和元年度までとしておりましたが、総合戦略の趣旨である人口減少問題の克服などは、総合計画と目的を同じくしていることから、令和3年度から始まる第5次総合計画と第2期総合戦略を一体的に策定するため、計画期間を1年延長し、令和2年度までの6か年にわたり、取組を推進してまいりました。

総合戦略の構成といたしましては、基本理念に「絆(つな)がる・創(つくる)和(わ)のまち 八千代」を掲げ、戦略Ⅰ「子どもを起点とする施策強化と、市制50周年を契機とした活性化」・戦略Ⅱ「仕事と子育ての両立に向けた環境整備と住み続けたいと思えるまちへ」の2つの戦略、さらに戦略に基づく「若い世代応援プロジェクト」「魅力創出プロジェクト」「しごと応援プロジェクト」「環境整備プロジェクト」の4つのプロジェクトから構成されており、95項目の具体的な取り組みと客観的に計画を検証するための指標としてKPI・重要業績評価指標を24項目設定しております。

本日は、第1期総合戦略の6か年の取組結果として、KPIの実績値および達成状況と、それに対する主な取り組みにつきまして、御説明させていただきます。

資料3「第1期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの達成状況と主な取組結果」の1ページ「Ⅰ. 若い世代応援プロジェクト」を御覧ください。

このプロジェクトでは、基本目標を「子どもを起点とする施策を強化するとともに、子どもの育てやすい環境を整え、結婚・出産・子育ての施策を進めることで、若い世代の希望をかなえる。」としております。

KPIは、5項目を設定しております。項目の欄に四角の印がついている3項目については主要なKPIとして設定しております。

主要なKPIの実績といたしまして、1つ目の「保育園待機児童数」は、目標値の0人に対

し、実績値は令和3年4月1日現在で48人となっております。

2つ目の「学童保育所待機児童数」は、目標値の0人に対し、実績値は49人となっております。

3つ目の「八千代市が子育てしやすいまちと感じている市民の割合」は、基準値の49.1%に対し、実績値は令和2年度で43.7%となっております。

その他のKPIは、資料のとおりとなっております。

達成状況ですが、「達成」「向上」「維持」「低下」と表記しております。

プロジェクト1では、5項目のうち、「向上」が2項目、「低下」が2項目で、合計特殊出生率については、現時点においては正確な数値が把握できないため「確認中」となっております。

また、このプロジェクトの主な取り組みといたしましては、民間保育園の新設などに対する施設整備費の補助や認定こども園への移行の推進により、平成27年4月から1,108人の定員を増加しております。また、学童保育所の新設や既存学童保育所の定員の拡大を行ったことにより、670人増加しております。そのほかにも、放課後子ども教室の整備や妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行う「利用者支援事業」、アプリを活用した情報提供などを行う「やちよ子育て応援モバイル事業」などを行っております。

次に2ページ目の「Ⅱ. 魅力創出プロジェクト」を御覧ください。

このプロジェクトでは、基本目標を「市制50周年を契機としたイメージアップ事業を展開するとともに、存在する資源等を活用し、さらに新たな魅力を創出することで、新しいひとの流れをつくる。」としており、KPIは9項目で、そのうち2項目を主要なKPIとしております。

主要なKPIの実績といたしまして、1つ目の「新川周辺が活性化していると感じている市民の割合」は、目標値の50%人に対し、実績値は51.4%となっております。

2つ目の「八千代市のイメージが良いと感じている市民の割合」は、目標値の69%に対し、実績値は74%となっております。

その他のKPIは、資料のとおりでございます。

達成状況としては、「達成」が4項目、「向上」が2項目、「維持」が1項目、「低下」が2項目です。

なお、「維持」となった「観光案内・賑わいセンターの利用客数」につきましては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が開催できなかったことから0名となったものでございます。

2ページの下から3ページにかけて記載しておりますが、主な取り組みとしては、印旛沼流域かわまちづくり計画の推進、観光ガイドブックアプリ「ココシルやちよ」による観光資源の



PR, 市の花「バラ」の普及・啓発, 市イメージキャラクター「やっち」を活用したPR, SNSを活用した市の魅力発信などを行っております。

次に3ページの「Ⅲ. しごと応援プロジェクト」を御覧ください。

このプロジェクトでは, 基本目標を「仕事と子育ての両立に向けた環境を整えるとともに, 働く希望者と雇用の場をつなげることで, 安定した雇用の循環を誘導する。」としており, KPIは4項目で, そのうち2項目を主要なKPIとしております。

主要なKPIの実績といたしまして, 1つ目の「工業の年間商品販売額」は, 基準値である平成25年度の2, 157億9, 621万円を平成30年度において維持するという目標に対し, 実績値として, 平成30年度の販売額で2, 803億9, 080万円となっております。

2つ目の「ひとり親家庭の就業率」は, 目標値の92%に対し, 実績値は90.6%となっております。

その他のKPIは, 資料のとおりでございます。

達成状況としては, 「達成」が2項目, 「向上」が2項目です。

主な取り組みとしては, 商工会議所と連携した経営力強化関係・創業セミナーの開催, 保育付き就職支援セミナーの開催などを行っております。

次に4ページの「Ⅳ. 環境整備プロジェクト」を御覧ください。

このプロジェクトでは, 基本目標を「住み続けたいまちとするため, 自然環境に配慮した取り組みや, 高齢者・障害者支援の取り組みを行い, さらに地域を活性化させる。」としており, KPIは8項目で, そのうち3項目を主要なKPIとしております。

主要なKPIの実績といたしまして, 1つ目の「地域医療体制が整っていると感じている市民の割合」は, 目標値の60%に対して, 実績値が52.5%となっております。

2つ目の「地域消防・救急体制が整っていると感じている市民の割合」は, 目標値の50%に対し, 実績値は53.2%となっております。

3つ目の「災害に備えた対策が適切に行われていると感じている市民の割合」は, 目標値の33.9%に対し, 実績値は32.6%となっております。

その他のKPIは, 資料のとおりでございます。

達成状況としては, 「達成」が3項目, 「向上」が4項目, 「低下」が1項目です。

主な取り組みとしては, 八千代医療センターにおける救急医療事業の推進, 消防車両の更新及び増強, 防災行政用無線等の増設及びデジタル化の推進などを行っております。

最後に, 設定している24項目のKPIの全体での達成状況をまとめますと, 「達成」が9項目, 「向上」が8項目, 「維持」が1項目, 「低下」が5項目で, 「確認中」が1項目でございます。

以上, KPIの達成状況と主な取組結果でございますが, 本日は, 第1期総合戦略の結果に

ついて、委員の皆様から御意見等を頂戴し、第2期総合戦略の推進につなげてまいりたいと考えております。

事務局からの説明は以上になります。よろしくお願いいたします。

○議長（伊澤委員）

ちょっと興味のお深いデータがたくさんそろっております。それではただいまの御説明について、御意見・御質問がありましたらお願いいたします。

○鈴木委員

まず資料3のプロジェクトIで「八千代市が子育てしやすいまちと感じている市民の割合」のところなのですが、資料2、2-2と連動してしまうのですが、地域子育て支援センターの利用人数が今回コロナのため人数減っているのはわかるのですが、実は人口増加地区の緑が丘西地区に子育て支援センターがなくて高津まで行かなきゃいけないというところで、普通民間だったらそういう人口が多いところに、例えばそういう子育てのお店を出しますが、あえて高津に建て直しをするということで、総合計画として、そういうのがいいのか悪いのか。はっきりして欲しいです。

要は高津というのは人口減少している中で、あえて地域子育て支援センター「こあら」をまた再建築するというところだったので、それでいいのかということまでお聞きしたいのと、次にIIの「魅力創出プロジェクト」、2ページ目ですが、この中にある「まちづくり会社の設立」ということで1社設立をして達成したということになっているのですが、これを達成して、結局その民間会社が何かをやるから達成ということなのか、例えば八千代市さんがまちづくり合同会社を通して、何かこうまちづくりをやってくっていうことで達成なのか、そこをちょっと具体的に教えてもらいたい。

一応これと連動するのですが、資料2の方にまちづくりマネージャーも廃止したということになっているのですが、今後このまちづくり会社が、まちづくりをやっていけるのかというふうにも見られているのかを教えてください。

あと主な取り組み結果の方なのですが、実は観光ガイド「ココシルやちよ」の紹介で総アクセスが約6万9,000件ということになっているのですが、実は自治会のホームページの閲覧数が約5万件でして、市の予算を投入してればもう少し閲覧数があってもいいのではないかとこのところでもうちょっと頑張ってもらいたいと。

次に3ページ目に行くのですが、一番上のURの団地の再生等の要請というところで、うちの地区では高津団地を抱えていまして、今後そこがテーマになるということで、実施結果が一応このような感じになっているのですが、今後やはり高津団地地区、村上・米本にもあるので

すが、市としても、もうちょっと深く関わっていかないと、URにお任せしていても先に進みませんので、やはり人口を維持するという計画目標のもとで、この団地地区をどうするのかを明確に上げていただきたい。

春日井市とか、いろいろ私も見てきたのですが、やはりやっているところはやっているのに、もうちょっと総合計画の中で謳っていただきたいと。

下の段に行きますが商業団体等の取組支援で、イベントでこう盛り上げるってことも私もわかるのですが、やはり商店街の廃止など聞き始めているので、そういう点をどうするのかというののもちょっと取り上げていただきたいと。

Ⅲの「しごと応援プロジェクト」の方ですが、シルバー人材センターの登録者数、これは私からすると高齢化社会なので本来はもっと登録数が増えなきゃいけないのですが、実はうちの自治会の70歳代の方というのが、やはりシルバー人材センターさんに登録していない方が多くて、もう民間の方になってしまうところなので、このシルバー人材センターの登録数をこう使うというのもそろそろ限界があるのかなというふうに思っています。

下の主な取組結果の話ですけれども、「やちよふれあい農業の郷を拠点とした地場産業の活性化」とか「農業体験」はとてもいいと思うのですが、実は関係人口をどんどん増やそうと、うちの自治会もシェアサイクルを置き始めたのですが、結構自転車に乗って遊びに行く人が多いですよ。

八千代市さんだと、公共的な場所になかなか置いてないので、習志野市さんは結構公共の場所に置き始めて、要は他市から来る人をどんどん増やそうという努力をなさっているのですが、八千代市としてどうしていくのかというところをちょっとお聞きしたいなというふうに思っております。

あと最後のページになりますが、基本目標の中のKPIの中にある、地域活動に積極的に参加していると考える人の割合が大変低いというところがちょっと残念な結果で、やはりこれ資料の2-2にもありましたが、やはり市民が市に対して透明性のその市政運営とかっていうところで、市との関係が薄く感じているからこうなのかなとか、いろいろちょっと疑問に思ってしまうのですけども。

うちの自治会では清掃活動でいうと約3割参加していただいているのですけども、やはり市の方ももうちょっと頑張っていただいて、これが50%って結構大変じゃないのかなというふうに思っているのですが、そのところをどうやってやっていくのかを具体的に総合計画で訴えていかないといけないのではないのかというところが思うのですが、そこのところ御回答願いますでしょうか。

○議長（伊澤委員）

幅広い御提案・御質問で大変貴重な御意見だと思いますが、時間の関係もありますので事務局の御説明、適切な枠組みなり何なりで、全体的なお話をさせていただけるとありがたいと思います。どうぞ事務局お願いします。

○鈴木委員

次回でも構わないです。

○事務局（宮崎主幹）

かなり難しい話も多かったものですから、こちらの方でまとめまして、改めて回答させていただきたいと思います。申し訳ありません。

○議長（伊澤委員）

御指摘の内容は非常に重要なことで、もう一度、この結果とですね、今後の政策にどうするかということを御検討の上、次回、御説明いただくことでよろしいでしょうか。お願いします。

○津田委員

次回、御説明いただける時に、もうすでに第2期の地方創生総合戦略が出ておりますので、今の御指摘のような点が、第2期でどのように解決されようとしているのか、これを照らし合わせながら御説明いただけるとありがたいです。

○議長（伊澤委員）

そうですね。それができたら尚更よろしいと思いますので、ぜひ事務局で御検討お願いいたします。

○事務局（宮崎主幹）

はい。

○議長（伊澤委員）

それでは、次の議題に入りたいと思いますがよろしいですか。

はいどうぞ。

○久保委員

このKPIの指標の1ページ目の資料で、次回でも結構ですから教えていただければいいのですが、合計特殊出生率の目標値がアップってことになっておりますが、現状これを作った時には1.36だったということで、その当時、議論されたとは思うのですけれども、何人子どもを産みたいとかっていう数字があって多分この数字を指標に使ったのではないかなと思うのですけれども、当時、例えば何人子どもが欲しいとかってそういう何かこう目安になるものがあった上でこの指標を設けられたのかどうかだけちょっと教えていただければ。次回で構いませんので。

○議長（伊澤委員）

ということで御説明を次回お願いしたいと思います。  
よろしいですね事務局。

○事務局（宮崎主幹）

はい。

#### （4）その他

---

○議長（伊澤委員）

それでは次の議題に移りたいと思います。議題4「その他」でございしますが、本審議会に関するということについて、委員より御発言があれば受け付けますが、いかがでしょうか。

○鈴木委員

前から言っているのですが、回数が少なすぎて、いつも理解できないですよこんな話。

僕も地元でやっていたし、上代さんも商業やっていて、やはり危機感を結構感じ始めているのですよ、現場では。このまま大丈夫なの八千代というところで、これでもう次で総括してしまおうという話なので、僕は大変危険かなとちょっと思い始めている。

委員の1人なので、本来船橋とかも結構回数多くやっているんですけど、八千代市は20万人都市で、いつもこんな感じで、このままでいいんですかねというところでちょっと事務局にちょっと、御検討をちょっと願いたいというふうに思っています。

○事務局（宮崎主幹）

この総合計画審議会ですけれども、これまでは先ほど冒頭で説明させていただいたとおり、

総合計画を作るために設置されまして、総合計画を策定したら、これまでは終わりというようなものでございました。

今回、条例改正いたしまして、進行管理とか、そういったものも条例の中に入れて、所掌事務としております。

そういったこともありますので、今年度ここで開きまして、また来年に入りまして、もう 1 回開いて、第 4 次については総括をするものでございますけども、第 5 次の進行管理等もですね、皆様をお願いすることを考えておりますので、引き続き、年度中に何度か開いて、そういった進行管理の状況等も報告、また御意見をいただくような形でですね、やりたいと考えておりますので、御理解いただきたいと思います。

○議長（伊澤委員）

継続的に委員の皆さんにということで、御了解が得られたかと思いますが、今の御指摘では、回数をもう少し増やしていただけませんかということについても、事務局で御検討をお願いするというところでよろしいでしょうか。

○鈴木委員

はい。

○議長（伊澤委員）

ということで御検討願いたいと思います。

はいどうぞ。

○渡邊（成）委員

ちょっと勇気を持って発言させていただきます。

こういった場に参加させていただくのが初めてで、こういった資料に目を通させていただくのも初めてで、こういうことを話し合っているところがあるのだなと思ったのが、第一の感想だったのですが、今の自治会で防災について関わってお仕事させていただいているのですが、この資料 3 の 4 ページの「災害に備えた対策が適切に行われると感じている市民の割合」を見て、30%いるのだと、ちょっと驚いて、私は全然防災についてわかっていなかったなというのを防災担当して初めてわかったんですね。

そういうことが、おそらく市民の方々がたくさんいらっしゃるのではないかというふうに思います。

何かがあったら避難すればいいというふうな考えでまだいらっしゃる方がたくさんいらっしゃ

って、こういったことに関わることで、わかることというのが実際たくさんあるなというふうに思って、こういう発言も、本当だったら、いつもだったら黙っちゃうところなのですからけれども、私みたいな人たちが市民であるのではないかなというふうに思いますので、そういう意見をくみ上げやすくする、その施策を考えるという、そういう本当にハードルを下げてやっていかないと、何かを向上させるにはとても難しいのではないかなというふうに思いました。

○議長（伊澤委員）

そうですね。この資料も、実を言うと私のように専門家でも、読み込むのにはかなり時間と、わからないところは藤井教授に聞いたりですね、そういうことが繰り返されていますけれども、ぜひそういう視点でですね、わからないところだとか、もっと説明が欲しいということは、これからもどんどん言っていただいてそれを少しでも反映できるようにできればと思います。

はい。貴重な意見ありがとうございました。

○渡邊（成）委員

ありがとうございます。

○議長（伊澤委員）

それでは、他にないようでございますので次回のことについて事務局、何かございましたら御説明お願いしたいと思います。

○事務局（宮崎主幹）

それでは、その他といたしまして、次回の審議会についてお知らせいたします。

会議の中での説明にもございましたが、本審議会は、今年度2回の開催を予定しております。次回の会議は、来年2月から3月頃に行いたいと考えております。日時の詳細につきましては、皆様のスケジュールや会場の調整をさせていただき、決定させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

会議の内容といたしましては、今回の議題といたしました第4次総合計画の総括に関することと、今年度より推進しております、第5次総合計画及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理に関することを予定しております。

皆様、御多忙のことと存じますが、スケジュールの調整など、御協力の程、よろしく願いいたします。

○議長（伊澤委員）

今のことに関連して、1つ御提案したいと思います。

2月、3月はオミクロン株で、かなり厳しい状況が予測されます。

今日、御出席いただけませんでした加瀬医師会会長さんがですね、スケジュール日程の調整の中で、すべて欠席だったわけではなくて、皆さんの大多数の人数との調整が合わなかったというのが理由だそうです。

そこで私の提案ですが、加瀬委員にぜひ出席してもらえるようにですね、医師会の会長の委員の御出席をいただいて、お話を伺うような機会があればと思いますが、それも含めて、事務局の方で御調整いただけるとありがたいと思います。意見でございます。

それでは、よろしいですか、事務局。

○事務局（宮崎主幹）

はい。

○議長（伊澤委員）

それでは本日の会議を終了いたします。

どうもありがとうございました。